

令和7年度 社南小学校便り

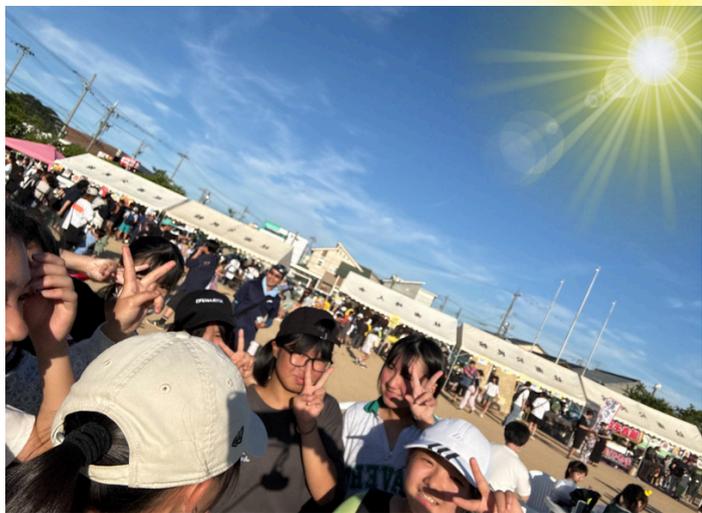
チャレンジみなみっこ

TEL 35-2822 FAX 35-2879 E-mail y-min-e@fukui-city.ed.jp

第5号

08.8.2025

ついに夏休み！納涼祭で大はしゃぎ



7月19日(土) 夏休みの初日。子ども達が待ちに待った納涼祭が本校グラウンドで開催されました。この日に向けて、保護者の皆様をはじめ、まちづくり委員会の地域の方々が子ども達の喜ぶ顔が見たいと様々な準備をしてくださいました。おかげで、大盛況の熱い一日になりました。焼き鳥やゲーム、くじ、太鼓ショー、抽選会までしっかり楽しんだ子ども達は「楽しかった！次はいつやるの？」と思いつきに話をしていました。前日の準備から当日、翌朝の後始末まで最後まできれいにさせていただき、本当にありがとうございました。社南地区の皆様が、子ども達を大事に思っていただけのお気持ちとそのパワーに大感動です。
(岩本 晃子)



夏休み いかがお過ごしですか？

なつやすみは39日間

夏休みも半分が終わりました。子ども達は元気に過ごしていることと思います。夏休み直前の朝礼で子ども達に伝えたこととお知らせいたします。残り半分の夏休みを充実したものにするために、ご家庭でも子ども達の思い出に残る「しあわせな」夏休みになるよう声かけをお願いします。家族で一緒に過ごす時間を大切に、家族の笑顔や笑い声が、子ども達の心に輝く思い出として残ることでしょ。

『なんでだろう？』をみつけよう
『しりたい！』をだいじにしよう



39日間の夏休み。身の回りの「なんでだろう？」を見つけてください。「しりたい！」を大事にしましょう。不思議に思っていてワクワクしながら調べたり、自分でもやってみようと挑戦するときこそ、脳みそも心も大きく成長していくのです。

校長先生が最近不思議に思って調べたことがあります。それは、脳から出る「しあわせホルモン」についてです。しあわせには3つの脳内ホルモンが関係あるそうです。セロトニン、オキシトシン、ドーパミンです。その中でも、ドーパミンはとても大事なホルモンです。努力し成果を得た時に出ってきます。ご褒美をもらうとか、試合に勝った時などです。ゲームやスマホをしている時にも出てきます。ただ、このホルモンはご褒美に慣れてしまうと、だんだん満足できなくなり、もっともっとやらないと気が済まなくなるのです。このようになってしまうと、他2つのホルモンもでなくなってしまうのです。長い夏休み。メディアの時間もコントロールして、ワクワクを見つけて、たくさん挑戦してってください。夏休みが終わったら見つけた不思議や挑戦したことを先生や友達に教えてあげてくださいね。



この2つのしあわせは色あせません。

しあわせホルモンって



①セロトニン



美しいものを見る。いい音楽を聴く。軽い運動をする。

しあわせ

②オキシトシン



家族と食事する。動物と触れ合う。仲間との一体感。ぬくもり。

しあわせ

脳のごちそう



ユナイテッドFC サッカー教室



7月16日(水)3年生がユナイテッド主催のサッカー教室に参加しました。プロのサッカー選手に教えてもらい、ボールをつかった体ほぐしやミニゲームに元気一杯汗を流しました。友達と触れ合いながら、楽しくプレイできました。子どもたちは、サッカーの楽しさだけでなく、チームワークの大切さも学びました。プロの選手たちの巧みな技術や動きを間近で見ることができ、子どもたちの目は輝いていました。

安心・安全な学校めざして

引き渡し訓練の実施

VOL.2



POINT

保護者以外の方に引き渡しされる場合は、お迎えの方にお子様の学年とクラスを覚えておくことよりスムーズに引き渡しができます。

7月19日(金)夏休み前日の最終日。本校初の児童引き渡し訓練を行いました。昨今の不審者侵入のニュースや異常気象による豪雨の様子をみても、子ども達を安全にスムーズに保護者のもとに引き渡すことができる体制を整える必要性を感じます。これまで、児童数の多さと校舎の狭さから実施できないままでしたが、不測の事態に備えて、学校も子どもも保護者も経験しておくことで、いざという時に落ち着いて行動できるようになればと考えています。訓練当日は、先生方の指示のもと、子ども達は整然と並びました。保護者の皆様もお忙しい中スムーズな引き渡しにご協力いただき、無事に訓練を終えることができました。この経験が、実際の緊急時に役立つことを願っています。今後は引き取り場所を変えて、2年に一度は訓練を行っていく予定です。皆様のご理解とご協力を心より感謝申し上げます。

着衣水泳



7月15日(火)6年生が着衣水泳を行いました。水の事故が増えるこの時期。社南地区には川やため池も多く存在しています。万が一、溺れた時を想定して体験しておくことはとても大事なことです。長袖、長ズボンのまま水に浸かるととても動きづらく、重く感じます。ペットボトルなどを浮きにして「背浮き」で助けを待つ練習をしました。この経験を通じて、子どもたちは水の恐ろしさだけでなく、その中でどのように身を守るかを学びました。

